【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【公表番号】特表2009-500914(P2009-500914A)
【公表日】平成21年1月8日(2009.1.8)
【年通号数】公開・登録公報2009-001
【出願番号】特願2008-519424(P2008-519424)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　8/26　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　84/18　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　84/12　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　88/06　(2009.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｑ　7/00　１６１
Ｈ０４Ｑ　7/00　６３３
Ｈ０４Ｑ　7/00　６３０
Ｈ０４Ｑ　7/00　６５３

【手続補正書】
【提出日】平成21年5月26日(2009.5.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アドホック・ネットワーク識別子を受け取り、前記アドホック・ネットワーク識別子はアドホック・ネットワークに対するサービス・セット識別子であり、
前記アドホック・ネットワーク識別子を入力とした計算の出力として少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを発生し、
前記計算の前記出力として生成された前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを包含する通信メッセージを含むアドホック・ネットワーク形成プロトコルを実行する、
アドホック・ネットワークの効率的な形成のためのコンピュータ実行可能命令を備えた、コンピュータ読み取り可能媒体。
【請求項２】
請求項１記載のコンピュータ読み取り可能媒体において、前記アドホック・ネットワークは、Institute of Electrical and Electronics Engineers(IEEE)802.11系データ通信規格のうちの少なくとも１つに従うワイヤレス・ネットワークである、コンピュータ読み取り可能媒体。
【請求項３】
請求項１記載のコンピュータ読み取り可能媒体において、前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを発生することは、少なくとも前記アドホック・ネットワーク識別子の暗号ハッシュ関数として前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを発生することを含む、コンピュータ読み取り可能媒体。
【請求項４】
請求項１記載のコンピュータ読み取り可能媒体において、前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータは、基本的サービス・セット識別子を備えた、コンピュ

ータ読み取り可能媒体。
【請求項５】
請求項１記載のコンピュータ読み取り可能媒体において、前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータは、ワイヤレス通信チャネル番号を備えた、コンピュータ読み取り可能媒体。
【請求項６】
請求項１記載のコンピュータ読み取り可能媒体において、前記コンピュータ実行可能命令は、更に、アドホック・ネットワーク収束規則集にしたがって、利用可能な物理レイヤ通信方式集合から、１つの物理レイヤ通信方式を選択することを含む、コンピュータ読み取り可能媒体。
【請求項７】
請求項６記載のコンピュータ読み取り可能媒体において、前記アドホック・ネットワーク収束規則集は、
（ａ）前記利用可能な物理レイヤ通信方式の集合が１つの物理レイヤ通信方式のみを含む場合、当該物理レイヤ通信方式を選択し、
（ｂ）前記利用可能な物理レイヤ通信方式の集合が、IEEE802.11bおよびIEEE802.11gに従う物理レイヤ通信方式を含む場合、IEEE802.11gに従う物理レイヤ通信方式を選択すること、
を含む、コンピュータ読み取り可能媒体。
【請求項８】
請求項６記載のコンピュータ読み取り可能媒体において、前記アドホック・ネットワーク収束規則集は、
（ａ）前記利用可能な物理レイヤ通信方式の集合が１つの物理レイヤ通信方式のみを含む場合、当該物理レイヤ通信方式を選択し、
（ｂ）前記利用可能な物理レイヤ通信方式の集合が、IEEE802.11aおよびIEEE802.11gに従う物理レイヤ通信方式を含む場合、IEEE802.11gに従う物理レイヤ通信方式を選択すること、
を含む、コンピュータ読み取り可能媒体。
【請求項９】
請求項６記載のコンピュータ読み取り可能媒体において、前記物理レイヤ通信方式を選択することは、
前記利用可能な物理レイヤ通信方式の集合における各物理レイヤ通信方式を、そのアドホック・ネットワーク収束効率にしたがって格付けし、
前記利用可能な物理レイヤ通信方式の集合において、格付けが最も高い物理レイヤ通信方式を選択すること、
を含む、コンピュータ読み取り可能媒体。
【請求項１０】
アドホック・ネットワークの効率的な形成のためにコンピュータ化したシステムであって、
アドホック・ネットワーク収束モジュールであって、少なくとも、
アドホック・ネットワーク識別子を受け取り、前記アドホック・ネットワーク識別子はアドホック・ネットワークに対するサービス・セット識別子であり、
前記アドホック・ネットワーク識別子を入力とする計算の出力としてアドホック・ネットワーク・パラメータの集合を発生し、前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータは基本的サービス・セット識別子（ＢＳＳＩＤ）とワイヤレス通信チャネル周波数とを含み、
前記アドホック・ネットワーク・パラメータの集合によってアドホック・ネットワーク形成プロトコルをパラメータ化する、
ように構成されたアドホック・ネットワーク収束モジュールと、
前記アドホック・ネットワーク・パラメータの集合によってパラメータ化した前記アド

ホック・ネットワーク形成プロトコルを少なくとも実行するように構成されたネットワーキング・サービスと、
を備えた、コンピュータ化システム。
【請求項１１】
請求項１０記載のコンピュータ化システムにおいて、前記アドホック・ネットワークは、Institute of Electrical and Electronics Engineers(IEEE)802.11系データ通信規格のうちの少なくとも１つに従うワイヤレス・ネットワークである、コンピュータ化システム。
【請求項１２】
請求項１０記載のコンピュータ化システムにおいて、前記アドホック・ネットワーク・パラメータの集合を発生することは、少なくとも前記アドホック・ネットワーク識別子の暗号ハッシュ関数として前記アドホック・ネットワーク・パラメータの集合のうちの少なくとも１つのパラメータを発生することを含む、コンピュータ化システム。
【請求項１３】
請求項１記載のコンピュータ読み取り可能媒体において、前記アドホック・ネットワーク識別子を受け取ることは、前記アドホック・ネットワーク識別子を外部ソースからワイヤレスで受け取ることを含む、コンピュータ読み取り可能媒体。
【請求項１４】
請求項１記載のコンピュータ読み取り可能媒体において、アドホック・ネットワーク形成プロトコルを実行することは、前記アドホック・ネットワーク識別子により識別された既存のアドホック・ネットワークに計算デバイスを加わらせることを含む、コンピュータ読み取り可能媒体。
【請求項１５】
アドホック・ネットワークのノードとして各々作用する計算デバイスのシステムであって、
第１の計算デバイスであって、
アドホック・ネットワークに対する識別子を受け取り、
少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを生成する計算を実行し、前記計算は、前記アドホック・ネットワークに対する前記識別子を入力とし、前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを出力として発生し、
前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを使用して前記アドホック・ネットワークと関連する、
ように構成された、第１の計算デバイスと、
第２の計算デバイスであって、
前記アドホック・ネットワークに対する前記識別子を受け取り、
少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを生成する計算を実行し、前記計算は、前記アドホック・ネットワークに対する前記識別子を入力とし、前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを出力として発生し、
前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを使用して前記アドホック・ネットワークと関連する、
ように構成された、第２の計算デバイスと、
を備えたシステム。
【請求項１６】
請求項１５記載のシステムにおいて、前記第１計算デバイスは前記識別子をユーザから受け、前記第２計算デバイスは前記識別子を前記第１計算デバイスから受ける、システム。
【請求項１７】
請求項１５記載のシステムにおいて、前記アドホック・ネットワークに対する前記識別子は、サービス・セット識別子（ＳＳＩＤ）である、システム。
【請求項１８】

請求項１５記載のシステムであって、さらに、
前記アドホック・ネットワークに対する前記識別子をブロードキャストするビーコン計算デバイスであって、前記識別子は、前記第１計算デバイスと前記第２計算デバイスが受け、前記ビーコン計算デバイスは、前記アドホック・ネットワークを前記少なくとも１つのアドホック・ネットワークで創設した計算デバイスである、システム。
【請求項１９】
請求項１５記載のシステムにおいて、前記アドホック・ネットワークに接続された各計算デバイスは、前記アドホック・ネットワーク識別子に基づき少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを生成する計算を実行するように構成された、システム。
【請求項２０】
請求項１５記載のシステムにおいて、新たな計算デバイスが前記アドホック・ネットワークに加わろうとするとき、前記新たな計算デバイスは、前記第１及び第２の計算デバイスで生成された前記少なくとも１つのアドホック・ネットワーク・パラメータを発生する、システム。